

第25回横浜市都市美対策審議会政策検討部会議事録	
議 題	議事1 都心臨海部における夜間景観の誘導手法について（審議） 議事2 創造的イルミネーション事業令和3年度の実験イベントについて（報告）
日 時	令和3年10月29日（金）午後3時から午後4時16分まで
開催場所	横浜市役所18階共用会議室みなと1～3
出席委員 （敬称略）	西村 幸夫、大西 晴之、国吉 直行、真田 純子、福岡 孝則（リモート）、高村 典子、 山家 京子（リモート）
欠席委員 （敬称略）	なし
出席した 幹事・書記	書 記：堀田 和宏（都市整備局企画部長） 榊原 純（都市整備局地域まちづくり部長） 梶山 祐実（都市整備局企画部都市デザイン室長） 吉田 和重（都市整備局地域まちづくり部景観調整課長）
関 係 者	【議事1】 関係局：奥村 創（都市整備局地域まちづくり部景観調整課担当係長） 【議事2】 関係局：河本 一満（文化観光局文化芸術創造都市推進部創造都市推進課創造的イルミネーション事業プロジェクトリーダー） 安藤 準也（文化観光局文化芸術創造都市推進部創造都市推進課創造まちづくり担当係長）
開催形態	公開（傍聴者：1人）
決定事項	【議事1】本日の意見を踏まえ、引き続き検討を進めること。
議 事	1 開 会 （西村部会長） それでは、まず会議の公開について、事務局から説明をお願いしたいと思います。 （梶山書記） 本日の部会については公開といたします。傍聴に当たっては、お手元の「傍聴に当たってのお願い」を守っていただきますよう、傍聴される皆様のご協力のほど、よろしく願いいたします。 2 議 事 （1）都心臨海部における夜間景観の誘導手法について（審議） （西村部会長） 今日は1件審議ですが、これはずっと継続して審議しているもので、今日も継続して審議になると思いますので、いろいろアドバイスを頂ければそれに従って改善していただくという性格のものです。それでは、事務局より説明をお願いしたいと思います。 議事1について、関係課から説明を行った。 （西村部会長） ありがとうございます。それでは、今の説明に関しまして何かご意見があればと思います。今のご説明にありましたように、あと1回は議論できるということで、その後もパブコメやいろいろありましてコメントの機会はあるとは思いますが、いかがでしょうか。どうぞ、真田委員、お願いします。 （真田委員） 書いてある中身についてはいいと思うのですが、非常に分かりにくいと思いました。いろいろなところにこうしましょうみたいなものが書いてあるような、書いていないような感じがして、もう少し情報を整理したほうがいいのかと思いました。例えば、夜間景観の方向性というところに、方向性（1）、（2）、（3）とありますが、その中に構造①、②、③、④、⑤というのがあるって、そこにこういうふうにしましょうということが書いてあって、さらに地区別の方針というのがあるって、でも、それとさっきの方向性というのがどう関連しているのかというのがいまいよく分からない。最後、5章に光の作法というのがあるって、これがさっきまでのこととどう関係しているのかというのでも分かりづらいというのがありました。あと、地区別の方針というのは、最初に書いてある対象地域を全部カバーしているわけでもないようなので、このガイドラインを考えた人にとっては分かりやすい

と思うのですが、これを見て市民の方が、じゃあ自分はどうすればいいんだと考えたときに、非常に使いにくいものになっていると思いました。なので、やるとすれば、例えば方向性のところにはどういうふうにやりますみたいなことは特に書かなくてもよくて、こういう照明にしましょうみたいな話はどこかにまとめて書いたほうがいいのかなど。あとは、地区別の方針のところだと、この地域はこういう地域だから方向性（１）についてはこういうことができますとか、そこにまとめて書くとか、じゃあどうすればいいんだということを考えながら読んだときにもうちょっと分かりやすくなるような構成にするとういことかと思いました。

というのが全体の大きい話で、あとすごく細かい話で言うと、これは福岡先生にもコメントを頂きたいのですが、例えば植栽の明かりとか、植栽をライトアップするのはいいのですが、樹木にとってどうなのかというのが気になりますので、そのあたりのコメントみたいなものも書いてあるといいかと。具体的にどういうコメントがいいかは私には分からないのですが、そういうふうに思いました。取りあえず、それぐらいです。

（西村部会長）

ありがとうございます。２つあって、１つは、特にガイドラインでいくと３、４、５章があるけれども、それぞれが独立しているので関係が分かりにくいという話と、植栽に光を当てるのは本当に大丈夫なのですかというのを福岡委員にも少しコメントを頂ければということですね。お願いします。

（福岡委員）

今、真田先生から頂いたコメントの前に、私のコメントとしては、例えば42ページを今見っていますが、第４章の地区別の方針の構成として、多分、リング、内水面、縦軸、シンボルという４つの光の階層によってこの夜間景観をつくっていきましょうという図なのだろうと思います。ただし、もしかしたら次のページにグランモール軸とみなとみらい大通り軸の夜間景観の大きい方針というか、もう少し空間像に踏み込んで、例えば照度や色までは書けないのかもしれませんが、こういう夜間景観をこの３軸ではつくっていきましょうとか、キング軸ではもう少しこういう雰囲気をつくっていきましょうみたいなことに踏み込めると使いやすいかと思いました。例えば、事業者にこれをもう一つの部会で説明するときに、では、どんな照明を設定していったらいいのかといったときに、ここを見てくださいと、ここに書いてあるようなものをベースにして、その範囲で考えてくださいと言いやすいと思うのですが、今の42ページの図を見せていただくと、ここを重点的に夜間景観として大事にしていきたいということでは分かるのですが、その雰囲気とか階層構造みたいなものが分かりにくいと思いました。この次にページを足してイメージを足していくのがいいのか、説明としてはリングと書いてあることでは足りていないと思いますので、少し説明文を加えながら、夜間の景観の空間像に少し踏み込んでいただくとより使いやすくなるかと思いました。これは多分、全ての地区で共通していることかと思うので、ぜひご検討いただければと思います。

それから、今、真田先生からご指摘があった第５章の光の作法の部分は結構大事かと思っていて、これを使っていく事業者はどんな照明を入れたらいいのかとか、歩行者空間の照度はどれぐらいとか、カットオフにするのかとか、人の顔がぼんやり見える形にするのか、足元だけなのか、街の魅力を高める照明手法等という（２）の①から⑤はもう少しイメージとともに見せるか、もしくは模式的に、例えば植栽であれば高木はこういうふうにしてライトアップしていくといいと、ただ、大まかな寸法としてはこれぐらいですとか、街路の中でこういう雰囲気ですよという夜の街路の断面図などを入れていただいて書くと分かりやすいかとは思いました。ただ、①と⑤が建物の漏れ光との関係で、あまり植栽に照明をしないほうがいいのか場合なども結構ございますので、その間の調整をどうするかということですね。（２）の①から⑤の間の要素の照明はいいのですが、その要素を統合的に見たときに、どうやってそれを総合的に判断するのが分かりにくいかと思いました。それは協議事項だったと思うのですが、それに役立つような書き方をさせていただくと非常に参考になるのではないかと思います。

あと個人的には、今回あまり話題になりませんでしたが大分プロジェクトマップや演出照明を意識された緩和ということがあると思うのですが、一方で結構派手派手しい樹木のイルミネーションみたいなものもあつたりしますので、その辺はどう考えるのかということも④の中を書くのか書かないのか。そういったところも気になるところではありますので、ちょっとこちらで踏み込んでいただくと事業者には使いやすいものになりますし、横浜市としても明確にアドバイスしやすいのではないかと思います。

あと、これとは少しずれてしまっ、ここに入れるべきことなのかは分からないのですが、ほかの

自治体、町田市などは24時間消えない照明をライフラインに沿わせて歩行者動線に入れたりしています。災害時にそこは絶対消えない照明みたいなものもありますので、この地区の中で防災・減災を考えて、そういう意味での照明というか非常時の夜間景観みたいなことを、ここに入れることかどうかは分かりませんがちょっと気になる点ではあるので、演出以外にもそういうインフラ的な照明のあり方みたいなこともどこかに補足で入れていただくのもありかと思いました。以上です。ありがとうございます。

(西村部会長)

ありがとうございます。いろいろ言っていただきましたが、どういう具体的なイメージをこちらが提示するのかということところが、光の作法に関しても地区に関しても必要だというお話と、非常時の話がありました。事務局で答えることがありますか。なければたくさん聞きますけれども。

(奥村係長)

今は照明の照らし方だけしか書いてなくて、それが樹木に対してどう影響を与えるかということろまでは踏み込んでいないところがあるので、それはどう入れ込むかということも踏まえて検討させていただきたいと思います。

(西村部会長)

分かりました。では、もう少したくさん意見を頂きましょう。どうぞ、大西委員、お願いします。

(大西委員)

私も照明によって街の魅力を高めるなどというのは大賛成です。今日の会議とちょっとずれてしまうのですが、ちょっと気になったのが、こういう照明をすることによって、基本は電気を使用することになると思います。そうすると、世界的な問題として最近、脱炭素の問題や異常気象の問題が大きな課題として出てきておりますので、日本もそういうものには協力していかなければいけない。私はこういうものをやったときにどれだけの電気がいるのか具体的に分からないので、そんなに気にするような範囲ではないということならそれでいいのですが、思いのほか電気や何かを使うとか、気温を上げるとか、そういう問題についてどうなのかということも併せてつけておいたほうが市民にとっても非常に理解しやすいのではないかと。例えば電気を使うにしても、このエリアの夜間照明は太陽光で賄うのだとか、風力で賄うのだとか、そういうことでできるのかどうかという裏づけは私は何も持っていませんが、そういう項目についても併せてつけておいたほうが自分も含めて一般市民にとっても理解しやすいのではないかという気はいたします。

(西村部会長)

ありがとうございます。全体にテクノロジーが進んだので緩和しますみたいになっているから、緩和するといろいろな懸念が特に市民の中で出てくるのではないかということです。ありがとうございます。非常に重要な視点だと思います。

ほかはいかがでしょうか。どうぞ、高村委員。

(高村委員)

このガイドラインをお使いになるのはほとんど事業者の方と先ほどから出ていますが、私のような一般市民が例えば何かイベントをやりたいとか、あと、こういうものができたら恐らく観光資源となっているので、ガイドをしているボランティアの方とか市民が見ると思います。そういうことも考えてつくっていらっしゃるし、これは一遍つくったら何年か先、策定されるのが令和4年とありましたので、どんどん変わっていくものではなくて、つくっていくことは承知しました。ここにはナイトタイムエコノミーとは書いていないですが、世の中が変わってしまって新しい日常で、今、外を歩いている人はあまりいないですけれども、むしろこれからどうなっていくのかというのはとても興味があります。例えば外で食事をしたりするのがはやっていくのか、さっきちょっと出ましたデジタルアート、プロジェクションマッピングとか、固有名詞を出していいの分かりませんが、チームラボさんとかネイキッドとか、すごくいろいろなプロジェクションマッピングを楽しむようなことがあって、それもこれで規制をかけるというかガイドラインを使うということによろしいのでしょうか。

あとは、回遊などもありましたが、皆さんそんなに健脚なのかと個人的には思っていて、どちらかというともみんな今、外での交流を求めているけれども、あまり歩いている人を見かけなくて、ただ、回遊となってくると商店街とか恐らくお金を使って、お金を落として横浜市を豊かにするということがあがると思うので、そういうことも多分含まれているのだと思います。まとまりがなくなりましたが、今できることではなくて今後広がっていくであろうことを想像できるようなガイドラインをつくっていただけると個人的には思います。

(西村部会長)

つまり、ある種将来像を提起するようなものであるべきだと。横浜市としてはこう考えるみたいだね。

(高村委員)

こういうこともできるよみたいなことが想像できたら、私たち市民的にはよりいいかと思いました。

(西村部会長)

事業者と対話して、どこまで何ができるということを示すだけではなくて、都市としてどういうふうになったらいいかということに向かったほうがいいと。

(高村委員)

結局は、事業者の方はこういう計画があったらご覧にはなるでしょうけれども、個別にお話しされるわけですし、あまり細かいことよりは分かりやすいものをつくっていただけるといいかと思いました。

(西村部会長)

なるほど。ありがとうございます。

ほかはどうですか。どうぞ、山家委員、お願いします。

(山家委員)

コメントのようなことになるかと思うのですが、先ほど真田委員から分かりづらさがあるというお話がありました。ガイドラインの中を初めてしっかり見せていただくと、夜間景観形成に対しての考え方を示すというのも非常に重要で、片やこれまでなかった投影広告の規制をどうしようというかなり実際的なお話もあって、その両方をしっかり押さえていこうとすると分かりづらさも出てくるとは感じました。途中送っていただいた資料の中に、例えばある事業者さんに対してのガイドラインの示し方としては、あまり厳しくあれをしちゃ駄目、これをしちゃ駄目というよりは、考え方を共有しようということかと理解しました。そうした意味では考え方を示して共有していただくのでいいかと思うのですが、やはり夜間景観と言ったときに、私たちがあの都市の夜間景観、夜景はいいよねという話をしたときは、もちろん回遊しながらの空間体験もあるのですけれども、かなり大きな広域のスケールをイメージすることも多いと思うのです。そうしたときに、個々の建築物、事業者さんに協力を要請すること、あるいはもう少し広域で効果的な夜間景観形成をしていくための実現の方法も併せて考えていかないといけないのかなとは感じました。

あと、すみません、これはちょっと余談になります。先ほどイルミネーションなどのお話がありましたけれども、最近、団地さんやエリマネさんのやっている郊外の住宅地で、コロナ禍の地域交流のイベントをどうされていますかというようなヒアリングを研究室で行っているのですが、皆さん苦労されていて、大まかに言うと夏祭りとかそういうイベントは全て中止という中であって、意外とデコレーションやイルミネーションだけは何とか開催できた、それで何となくにぎわいとか、それを見て楽しんでいらっしゃる地域の方がいたというようなお話は聞こえてきました。この状態が続くのはあまり望ましいことではないかもしれませんが、そういう楽しみ方、新しいにぎわいの提供の仕方があるんだと感じているところです。以上です。

(西村部会長)

ありがとうございます。イルミネーションもそれなりに意味があるということもおっしゃっていただきましたが、もう少し広域的なビジョンみたいなものがあるべきではないかというご意見だと思います。これは私の理解だと、今、夜間景観というわけではないけれども、照明に関して幾つかの規制がかかっているわけですが、どちらかというとかかなり抑制的な規制なので、それを変えようという側面もあるわけですね。だから、その意味で言うと、前向きな方向があるということは言えると思います。

ほかはどうですか。どうぞ。

(国吉委員)

大体皆さんがおっしゃっていたことで共通しています。ただ、真田さんがおっしゃったように、今の横浜の夜間の景観の状況をどういうふうに認識して、今こういうことが入ってきていて、これにどういうふうに対応しようとしているのかというようなニュアンスをきちんと書いたほうがいいのかなという感じがします。それを踏まえて、かつ、地区別の特性を出すとか、あるいはイベント時の演出というのは必要に応じて対応していくということも大きく分けていて、そういうことをはっきり書いたほうがいいと。

それともう一つ、大西委員がおっしゃったことが非常に重要なことで、今年は特に電力不足が起こ

るのではないかとということがあって、環境問題が非常に重視されているときに、電力の使い方についても今後、効率的な使用の仕方や新しい供給先の発掘とか、そういうものも踏まえて検討して、一方的にとにかく楽しいからどんどんやりましょうという雰囲気だけにしないほうがいいのかなど。状況に応じて演出もするし、だけれども省エネルギー的な、効率的なもので楽しくする工夫を、テクノロジーも駆使しながら探していくということを併せてやっていきますということは宣言しておいたほうがいいかと。

それで、あまりガイドラインということでこれはやめましょうというよりも、状況に応じて一定期間見守った上で、場合によっては是正をお願いすることもできるぐらいの感じで、いろいろ工夫していく、やってみたい、やってみましょうみたいな雰囲気では構成できないのかと。まだ事務局としてもここまでだったら大丈夫でというのは分からないところが結構あると思います。それで、やってみなければ分からない、とにかくメーカー等もこういう実験をしてみたいということをやってみていただいてもいいし、その中で今言ったような街としての効果以上に環境としての問題はないかとか、そういうことで多面的な評価をしながら選択していくことができるような仕組みを探っていくのがいいのかなという気がしました。

(西村部会長)

ありがとうございます。こういう問題が出てきた現状認識みたいなのもきちんと書くと、何でもこういうことをやろうとしているのかということが見えてくるのではないかとすることは確かにありますよね。

ありがとうございます。一通りいろいろ意見をいただきましたが、何かほかにありますか。

全体として見ると確かに、なぜかこれが最後の発言とも絡みますが、それぞれのご意見を伺っていますと、なぜ今こういうことをやるのかということに関して説明がうまくつくことがないと分かっていなくなってしまう気がしました。

もう一つは、この議論の最初のときにハレとケという話があって、何がハレで何がケか分からないではないかということで、都市構造というものをきちんとケとして見ようということで、都市構造という議論で割合いろいろなものが出てきたということは分かるのですが、恐らくそのときに、今思い返してみると、ケで言おうとしていたのは、特別ではないときにどうするかという話ですよ。特別ではないときに、やはりきちんとしたものがないといけな。その方針がきちんとあって、それは例えば環境問題にも寄与するとかいようなことも中にはあって、でも、特別なときは特別なときであるんだというようなことでもあれば、全体としては見えてくるのではないかという感じでしょうか。今までお話を伺ってくると、そういうところをもう少し書くと全体の方針が分かりやすくなっていくのではないかと、いろいろな人のご意見をまとめるとそういうことに近いのかなという感じがしております。強引にまとめた感じがするので、何かもしそれ以外のコメントがあればと思いますが、いかがでしょうか。

あともう一つ、ここと直接関わるかどうか分からないけれども、個人的なことを一つ言わせてもらおうと、都市構造の問題で、港に向かう軸線が幾つか出ていますが、例えば横浜と神戸を比べてみると、神戸のほうがはるかに港に行く軸線が都市構造を形成しているのです。川があったから、だーっと並んでいて、居留地もまさに港に行く軸線で構成されているのです。でも、横浜の居留地の部分は港に行く軸線は特別で、基本的には本町通りみたいに水際線に平行する軸線がメインでした。だから、そこが日常の軸で、そこに特別な軸が縦に入っているという話なので、性格は違うけれども両方あるんだということを言わないと横浜の都市の個性にならないのではないかと思います。港に行く軸だけ言ったら、それは神戸のほうがフラワーロードから始まって全部そうなるので、実際に図面を見ても、軸に平行した、直行する道も点々になっています。ですから、そこはある意味都市のもう一つの日常の構造で、日常の構造は日常の構造としての夜間景観があるのだと思います。そういうことにうまく入れていくと、もうちょっと全体が見える感じがします。それは個人的な話なのであれですが。

ほかには何かありますか。では、そんな感じで、結構早く進んでいますが、皆様のご意見が集約できるのであればそういうことで、次回工夫してもらいたいと思います。

それでは、次に行きましょうか。

(2) 創造的イルミネーション事業令和3年度の実験イベントについて (報告)

(西村部会長)

議事2番目、創造的イルミネーション事業令和3年度の実験イベントについて、報告です。お願い

します。

議事2について、動画を用いて関係課から説明を行った。

(国吉委員)

今年は、特別演出はどういう時間帯なのですか。

(河本係長)

5時半から9時半までの間で、30分に5分ずつやるということです。これがその特別演出です。常時は広場のドームを楽しんでいただく形になっています。

(国吉委員)

30分おきに場所を変えないと駄目ですね。

(河本係長)

まあ、やろうと思えばできますけれども。

これが携帯からも聞ける音楽になっていまして、今年はパーソナルにどこでも聞けるという仕組みになります。

最先端技術ですので、パソコン上から色を幾らでも変えられることになっています。

特に水際線沿いの水面に映るというのは、今年実験でどの程度いくかというのはこれからなのですが、かなりいけそうかなというのが実験上では出ています。

(国吉委員)

これは何日間ですか。

(河本係長)

資料に書いてあるように40日です。

(西村部会長)

動画をどこかで展示しないのですか。これが一番分かりやすいのではないですか。

(河本係長)

皆さんに賞が取れるのではないかとされているのですが。

(西村部会長)

これが一番分かりやすいですよ。

(安藤係長)

そうですね。これを一遍に見られる場面はないですからね。

(河本係長)

一応ドローンを飛ばして上空から見ようとか、今年は船から、各運航会社の方にツアーを組んでいただいたり、ヘリコプターのツアーを用意していただいたり、あとは水際線沿いでマッピングしながら大岡川と中村川を楽しむという、いろいろな実験をやっています。夜の横浜を楽しんでいただくと。それで、これが終わった後に食事をしていただいたり、泊まっていたりというのがナイトタイムエコノミーです。

(西村部会長)

大変立派で、本当に分かりやすいですね。現地に行くとこれほどよく分からないのではないかとというのがやや不安ですけども。

いかがでしょう。これはご報告なので、いろいろコメントを頂ければということですが、何かあればいかがでしょうか。どうぞ。

(高村委員)

楽しみにしているのですが、実は現地で中に入るよりどこかから眺めたほうがとてもきれいなものだと思います。先ほどおっしゃったように、大さん橋やビュースポットが幾つか、これを教えていただけるととてもうれしいということと、水際線などを船から見るとすごくいいのですが、クルーズは予約をして何月何日何時に2時間、1時間空けて行くとなってしまうので、例えばそのほかのアートイベントみたいに、30分に5分あるのですよね、それに合わせてそんなに高価でなく気軽に行けるようなもので、どんどん短い船をいっぱい出してもらえると嬉しいと思いました。

(河本係長)

ありがとうございます。

(西村部会長)

ありがとうございます。ユーザーとしていろいろなことを言ってもらって。今年反映できるかどうか

か分かりませんが。

(安藤係長)

ビューポイントに関しましては、先ほど言いました汽車道や象の鼻パークです。そのほかでいきますと、ハンマーヘッドの建物の前辺りからもよく見えたり、幾つかあるのですが、この辺は実際には公式ホームページ上でビューポイントも紹介していきたいと思っておりますので、また後日ご覧いただければと思っております。

(河本係長)

これに合わせて、ナイトタイムエコノミーですので、街を回遊していただくということで、これには書いていないのですが、SNSに上げていただければワンドリンクサービスとか、何%引きとか、街中のホテルや飲食店、100店舗ぐらいと提携しています。そこに合わせてデジタルスタンプラリーをしてそれぞれやれば、街から提供していただいた2泊分の宿泊券とか飲食券とかいろいろなのがセットになっていまして、まさしくこのイベントを楽しんだ後に街を回遊してお金を落とさせていただく仕掛けをやっています。

(西村部会長)

それは、具体的にこれをやることでどれぐらいの影響があったかみたいなことをどこかで調べることができるのですか。

(河本係長)

一応、経済波及効果というのをやっています、昨年は広場で53万人、周りで32万人、合わせて85万人の方に来場いただいて、経済波及効果は40日間で約53億円というのをリサーチというか、プロに算出していただいてやっています。費用対効果を、これに予算を幾らかけて幾らの経済波及効果があったかというところまで検証しています。

(安藤係長)

そのほか、今年は広場と大さん橋にビーコンを設置しまして、人がどういうふうに行き来したかということ調べてみたり、そのほか、先ほど言いましたデジタルスタンプラリーの中で、その人たちがどういう行動を取ったのかというのをある程度分析できるツールも導入しているので、そういった回遊の分析もある程度できるかと思っております。

(西村部会長)

売上げがどれぐらい上がったかというのも分かると思いますが。

(安藤係長)

売上げは、アンケートは取れるかもしれないのですが。

(河本係長)

飲食店さんがどこまで教えてくれるかがありますけれども。

(西村部会長)

いかがでしょうか。何かあれば。どうぞ、福岡委員。

(福岡委員)

感想のようになってしまうのですが、今、西村先生がおっしゃった、これは基本的にナイトエコノミーの推進事業の一つとしてやっているものだとすると、夜間のこの景観の取組はいろいろなものがあるとは思いました。これの効果をどうやって検証するかといったときに、今、主体は文化観光だと思いますので、文化観光的にはどれぐらいお金が落ちたかということでもいいと思うのですが、都市系の部署にとってみると、今、ウォークアブル推進都市もやられていますので、夜間の人流や回遊の量を計ったり、夜間に人が逆にアクティブに動くみたいなことはほかの都市で最近ありませんので、そういったことを検証する機会にもなるかと思いました。ですので、この効果を、どうこれを評価するかとか検証するのはなかなか難しいのですが、照明の質やイベントに参加した人の人数とか、どれぐらいお金が落ちただけではなくて、もう少し違う軸でこれを評価してみると、他部局にとっても意味のある事業になるのかなと思ったのが一つです。

2つ目は、このイルミネーションの事業が公募プロポーザルみたいな形で、割と新しいアーティストや照明デザイナーさんなどが気軽に参画できるものではないと思うのですが、もしそういうことができるのとすると、アートの取組としても若手を育てたり、社会的な意味も出てくるかと思いましたので、これから先のことだとは思いますが、そういった機会もぜひつくっていただけたらいいかと思いました。感想めいた話ですが、すみません、以上です。

(西村部会長)

ありがとうございます。デザイナー育成につながればクリエイティブシティとしては最高ですね。

(河本係長)

ありがとうございます。全体の統一的な照明の計画があるのですが、今おっしゃっていたように、将来は個別の、例えばショーウインドー単位ですとか、あるいはちょっとした工夫する照明で、特別な8時とか特別な9時のときにいろいろなチャンスがあるとは思っておりますので、ぜひいろいろな方に参加していただけるような仕組みを徐々に増やしていきたいと思っております。

(西村部会長)

ありがとうございます。ほかはいかがでしょうか。

質問ですが、これが11月から12月、去年もそうでしたけれども、ほかの時期にはできないものなのですか。年度内で入札をかけたたりするとこの時期になってしまうとか、そういう話なのでしょうか。

(河本係長)

イルミネーションなので冬の風物詩ということで冬に始めたのですが、将来はさっき言ったように年中行事に変わっていければいいかと思っております。それと、どうしても今、広場でやっていますので、広場の運営費がかかってしまうので期間が限定されるというのもあります。将来的には建物だけで勝負したいと思っていますので、そうすると、それぞれのオーナーの方に照明機材を入れていただければ毎日できることになると思っております。そのハードルが非常に高いと思っています。

(西村部会長)

昨年、我々も行かせていただいたのですが、12月の夜だから結構寒いのですよね。もうちょっと暖かい時期にやってもらえると。

(国吉委員)

寒いときに人が出てこないから引っ張り出そうと。

(西村部会長)

なるほど、やむを得ない。大西委員、何かありますか。

(大西委員)

私も気候的なことと、5分間だけだと次にもう一回見たいというときは25分待たなければならないわけですね。やはり寒いときに25分ずっと待つというのも結構きつい。ただ、それが例えばその半分で15分ごとにやるとかいうのは費用がかかるということなのですか。

(河本係長)

演出ですね。いろいろ議論があったのですが、1時間に10分にしたいほうがいいのではないかと。将来は毎日だとすると8時と9時にお客さんに来ていただくという発想なのですが、今回は短期勝負なので30分に1回と。それで、20分に1回でもいいじゃないかと、いろいろ議論があったのですが、取りあえず今年は30分に5分をやってみて、いろいろ皆さんの要望に応じて柔軟な対応も可能かと思っております。

(大西委員)

ありがとうございます。

(西村部会長)

ほかの国では大体どれぐらいのインターバルでどれぐらいやっているものなのですか。

(河本係長)

シンガポールだと大体8時と9時に12、13分の光と水のショーみたいなことをやっています。香港も同じですが、15分ぐらいですかね。時期にもよるのですが、たしか8時1本勝負というところもありますし、9時と2本のところもあります。その代わり毎日ですけれども、それを目指して観光客の方が陣取って見るということになっています。

(西村部会長)

たしか、エッフェル塔もある時間になると色が変わったりしますよね。

(河本係長)

エッフェル塔も夏だと10時ぐらいにシャンパンゴールドのような形でショーをやったり、特別にクリエイターの方を入れて、石井幹子さんの娘さんがジャパンデーをやったりとか、いろいろなことをやっています。

(西村部会長)

ありがとうございます。何か。

(大西委員)

あと、ホノルル辺りですとヒルトンホテルで毎週土曜日に5分だけ、10分まではやっていなくて短いのですが、その間必ず花火があります。ここでもホテルさんがたくさんあるし、そういうことは考

	<p>えられないのですか。</p> <p>(河本係長) ハンマーヘッドのところから花火が上がったり、週末だけやるということで地元の方が考えられています。</p> <p>(西村部会長) 真田先生、どうぞ。</p> <p>(真田委員) この地図のところで、星がついている特別演出ポイントというのは、さっき見せていただいた遠くから見ていろいろ光るというものですよね。どこを歩いたら楽しいんだろうと思ったときに、多分、星のところに行ってもそんなにあれなのかなと思って。</p> <p>(安藤係長) そうですね。例えば山下公園からずっと水際線が、横浜の港を歩けるので、そこを歩きながらが一番いいのではないかと思います。</p> <p>(真田委員) 分かりました。そうすると、PORTALの設置場所が散らばっているというか。</p> <p>(安藤係長) そこはちょっと、5分間なのでそれを見て、その後街に回遊していただいて、食事をしていただいてもということも含めての配置を考えておまして、街全体でやっている感を出したいという意図であえて散らばしてやっているということです。地元の主立った商店街、元町や中華街、馬車道を意識して配置しているということになります。</p> <p>(西村部会長) なるほど。ほかはどうでしょう。よろしいですか。</p> <p>(河本係長) 寒い中なのですが、ぜひ今年もご案内したいと思います。</p> <p>(西村部会長) ぜひご案内ください。それでは、特によろしいですか。皆さん、グレードアップされたということなので、今年も楽しみにしたいと思います。</p> <p>ということで、終わりでいいですか。事務局、どうぞ。</p> <p>3 閉 会</p> <p>(梶山書記) 本日の審議の詳細な内容につきましては、議事録の確認をもって審議内容の確認とさせていただきますと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>(梶山書記) なお、本日の議事録については、部会長の確認を得た上で閲覧に供することとさせていただきます。</p> <p>(西村部会長) それでは、次回の政策検討部会の開催について、事務局より説明をお願いしたいと思います。</p> <p>(梶山書記) 年明けに開催を予定しておりますが、詳細は議題の調整が出来次第、追ってまた調整させていただきます。</p> <p>(西村部会長) それでは、これをもちまして第25回横浜市都市美対策審議会政策検討部会を閉会したいと思います。どうもありがとうございました。</p>
資 料	<p>資料1-1 都心臨海部における夜間景観の誘導手法について</p> <p>資料1-2 横浜市都心臨海部夜間景観形成ガイドライン（素案のたたき）</p> <p>資料2 創造的イルミネーション事業 令和3年度の実験イベントについて</p> <p>別紙 令和3年度 創造的イルミネーション事業 展開イメージ</p>
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の議事録については、部会長が確認する。 ・次回開催の日程等は、別途個別に日程調整する。